

村野藤吾（むらのとうご）

～20世紀の日本を代表する建築家～

1891年（明治24年）現在の唐津市東唐津に生まれる。

1918年（大正7年）早稲田大学建築学科を卒業。大阪の渡辺節事務所へ入り、チーフデザイナーとして活躍。

1929年（昭和4年）、村野建築事務所を開設。森五商店東京支店（1931年）、大阪パンション（1931年）など国際スタイルの建築をつくり注目される。戦後は、世界平和記念聖堂（1953年）、旧有楽町そごう百貨店（1957年）、日本生命日比谷ビル（現・日生劇場）（1963年）、千代田生命本社ビル（現・目黒区役所総合庁舎）（1966年）、日本ルーテル神学大学（1969年）などがある。

最近の建物では、佐賀県教育職員研修センター（1979年）、新高輪プリンスホテル（1982年）、谷村美術館（現・澤田政廣作品展示場）（1983年）など多くの作品がある。

1984年（昭和59年）、93歳で没す。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



村野 藤吾
(1891～1984)

(市役所建築課資料より)

◎引用・参考文献（出典）

◆唐津市建設部建築課資料より
※平成18年唐津近代図書館『唐津の三大建築家展』の際の資料

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html